会議録

令和6年5月22日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和5年度第9回定例会
開催日時	令和6年2月21日(水) 18時30分から19時30分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、小須田厚子(副会長)、高橋浩一、辻康一、荒井容子、高井正、荒井茂、石川健、小池教之、下坂小百合、青木美紀子、城石雅行、 職員：福所館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、國府方館長補佐(芝久保分館長)、一之瀬分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	ギログリー江美、松本静
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度第7回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和5年度第8回定例会会議録(案)について 2 主催事業について <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度公民館主催事業報告について(資料2) (2) 令和6年度公民館主催事業計画について 3 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 西東京市教育計画策定懇談会報告 4 事務連絡及び情報交換 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度第2回利用者懇談会について (2) 東京都公民館研究大会について (3) その他 (4) 令和5年度第10回定例会の開催について
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和5年度第7回定例会会議録(案) 資料2 令和5年度公民館主催事業報告書
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり(1名) ☐ なし
会議内容	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和5年度第7回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>●令和5年度第7回定例会会議録(案)について(資料1)承認する。</p> <p>(2) 令和5年度第8回定例会会議録(案)について</p> <p>●令和5年度第8回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し1週間をめぐり修正意見を事務局に送ることとする。</p> <p>2 主催事業について</p> <p>(1) 令和5年度公民館主催事業報告について(資料2)</p> <p>○A委員</p> <p>地域づくり未来大学“私たちがつくる「まちの顔」～柳沢駅南口ロータリーの活用を考える”(柳沢)について、担当の考察・課題欄に「定年を迎え、地域デビューや地域での居場所を考えたい」という受講動機が紹介されている。男性の動機かもしれないが、参加者26人の男女比がわかれば、教えていただきたい。</p>

- 事業係長
参加者 30 人中、女性 14 人、男性 16 人。男性は 60 代が中心で 70 代、80 代は少なかった。中には既に地域活動に参加している三児の父の 30 代男性もおり、積極的にかかわっていただいた。
- A委員
今後の方向性は話し合われたか。
- 事業係長
講座最後の回で「何か形にしたい」という声があり、講座終了後、話し合いを経て、自主サークル化した。ロータリーについてハード面の整備だけでなく、居場所として活用する案も出され、サークル内で話し合いを重ねている。
- B委員
地域づくり未来大学（柳沢）について、市の道路課と情報共有したとあるが、ロータリーの所管課と調整はできているのか。また、一人の講師が進行役としてすべての回にかかわったということだが、どのように行ったのか。
- 事業係長
講座の企画段階からロータリーの所管課である道路課と情報共有や調整を行った。地域づくり未来大学（柳沢）は市の総合計画に位置付けられており、今年度はその最終年度であることから、学習の成果としてロータリーの活用方法について提案書を作成し、市に提出したいと考えている。
講座全体のファシリテーターを依頼した講師は、地域に密着した創業支援を仕事としている方で、各回で話をしていただく講師のコーディネートも含めて講座を組み立てていただいた。ファシリテーターがいることで、各回の学びがつながり、参加者にも好評だった。
- C委員
講師が複数の講座の場合、一貫性をどう担保しているのだろうかと思っていたが、全体を通してファシリテーターがいることは有意義だと思う。職員の間で今回の取り組みが共有されるとよいと思う。
市のみどり公園課はボランティア団体と施策を進めているので、コンタクトをとってみたい。
- 事業係長
連絡をとってみたい。
- B委員
小学生親子講座「落合川の観察会と壁面水族館づくり」（田無）について、今まで3年間にわたって講師を依頼してきた「東久留米・川クラブ」の方たちには、来年度以降は講師を引き受けていただけないということだが、今まで受講した方たちの中から講師を探すことは難しいか。
- 分館長(田無)
フィールドワークを重ね、落合川について専門的な知識を有していた方たちなので、受講者の中から、その方たちに代わる講師を探すのは難しい。来年度は、川にこだわらず、自然科学に親子で親しめるような内容で講座の企画を検討したい。
- B委員
参加者の感想を読むととてもよい事業であることがわかるので、すぐにテーマを変えるのではなく、長いスパンでゆっくり検討していただけるとよいと思った。
- C委員
小学生親子講座（田無）がフィールドワークをした落合川は、隣の東久留米市の川になる。
- C委員
子育て中の女性のための講座“「未来のタネ」がきっと見つかる～夢がかなう子育てのヒント～”（ひばりが丘）について、講座資料とふり返しシートをまとめた通信を保育員にも配布したとあるが、職員が、保育と講座をつなぐ努力を行ったことを評価したい。ただ、担当の考察・課題欄に「行き過ぎた新自由主義に疑問を抱き、ケアを中心に据えた社会を展望することができた」とあり、職員の強い思いが前面に出ているように感じる。参加者は、そのことに気

づかなくても、自分なりの気づきがあったり、講座に参加することで他者との関係が始まりすることで充分ではないかなと思う。ていねいに進めていただきたいと思う。また、地域づくり未来大学（柳沢）のように、全体を通してかかわる講師がいると、まとまりがあるのではないかと感じた。

○事業係長

担当者は前期の保育付き講座で、自分を社会の中に位置づけて考えることなく、子どもとどう接したらよいかというスキルを学ぼうとする受講者の姿を感じ、なぜ子育てが大変なのか、社会の構造も観ていく必要があるという問題意識から、本講座を企画、実施した。その問題意識が背景にある。

○A委員

子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）のような長期の連続講座こそ、学習支援者の存在が大切。その役割を果たす人がいないので、その役割を担当職員が担ったのだと思う。職員が社会をどうとらえるかはとても大切なことだが、そこに引き付けすぎるとは問題であり、バランスが必要。学習支援者と一緒に講座を運営していく人がいると、より充実すると思う。

○D委員

小学生親子夕方講座「将棋が好きな小学生あつまれ♪～親子で将棋をプロから楽しく学びます！～」(田無)について、講座を見学させていただいたので感想を述べたい。一つは講座が始まったのが藤井聡太さんが八冠をとるかどうかが話題になっていた時期で、トレンドを捉えていたことが人気を博した要因だと思う。二つ目は、講師がプロの棋士だったこと。異世代交流で高齢者と中学生が対局するという催しに行ったことがあるが、中学生の参加者は一人だけだった。やはりプロの棋士に教えてもらえるとなると盛り上がるのだと思った。三つ目は、サポーターとして将棋サークルの高齢者が指導していたこと。田無公民館が活動場所ではないにもかかわらず、毎回やって来られ、準備も手伝っていた。孫世代と将棋を打てることも魅力だったのだろう。そういうことで公民館が支えられているのだと思った。最後に、もの足りなかったのは、「とても楽しかった」「おもしろかった」「すきになった」という感想が多いこと。このような感想を抱く人は強くなれないと思う。将棋は時間をかけて対戦し最後に負ける。だから、負けると悔しいし、つらいし、苦しい。そういうことがあって強くなれると思う。次回は悔しかったという感想が出てくることを楽しみにしている。

○分館長（田無）

サポーターは、まず田無公民館内で募集した。将棋サークルに入っていなくても将棋ができる方がいて、なってくださった。さらに、ひばりが丘公民館で活動するサークル、富士町福祉会館で活動しているサークルの方にもサポーターになっていただいた。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

教育委員会定例会とこれから始まる市議会について報告する。

昨日開催された教育委員会定例会では、特に公民館に関する質疑はなかった。

2月26日（月）から市議会本会議が始まる。公民館では、令和6年度予算に既に整備されている田無公民館を除く5館のWi-Fi環境を整備するための予算を計上しているが、一般質問ではWi-Fi環境についての質問が出されている。

○B委員

図書館のWi-Fi環境はどうなっているのか。

○公民館長

図書館のレファレンスコーナーは整備されている。

○A委員

フリーWi-Fiは、パスワードを入力する形のものか。

○公民館長

セキュリティについてはメール認証を考えている。

(2) 公民館だより編集室報告

- 担当委員より、2月5日（月）開催の公民館だより編集企画会議について報告。4月1日号の一面記事について紹介。

(3) 西東京市教育計画策定懇談会報告

- 担当委員より、最後の懇談会について報告。令和6年度から10年度までの教育計画の概要と懇談会での議論が反映された内容を紹介。

○E委員

西東京市教育計画（令和6年度～令和10年度）は、基本方針を4つ示しており、主として社会教育や公民館に係るものは“多様な「学び」と「つながり」を通じた生涯学習の推進に向けて”という基本方針4。教育計画の大半は小・中学生の教育に関するもので、学校が担うこととされている。しかし、不登校の子どもたちが増えている現状を知る市民の委員には、学校だけでは子どもたちの成長を支えられないという実感があつた。そこで、学校教育に地域や市民がかかわることを盛り込んでほしいという意見が多く出され、基本方針3“学校・家庭・地域で「ともに育む」教育環境の充実に向けて”の中に、関係機関・組織等と連携して進めるという視点を取り入れていただいた。全般的に地域が子どもたちの成長にかかわるような西東京市の教育であってほしいという期待が、市民の委員にはあつた。今後、コミュニティスクールなど地域が学校と連携する場が増えていくのではないかと思う。

○F委員

おっしゃるとおりだと思う。学校に行きにくい子どもたちを学校だけで支えるのは難しくなっている。子どもたちにとって、地域の中に学校以外の多様な学びの場があつたり、社会とかかわる機会があつたりすることはとても大切だと思う。現に、子どもたちは、ボランティア活動で地域の大人たちとかかわる中で、言葉をかけていただくことなどを通して、自分に自信をもつようになってきている。地域のみなさんと一緒に子どもたちの成長を支えていくことが大切だと思う。

○G委員

私はコミュニティ・スクール（学校運営協議会）に価値があると考えている。コミュニティスクールは、学校長の経営方針に対して地域の方が意見を述べる制度。私は、コミュニティスクールの委員のみなさんからお知恵を拝借しながら、学校を運営していくのがよいと思っている。つながりを大切にして進めていく方法はとてもよいと思う。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和5年度第2回利用者懇談会について

- 各館の利用者懇談会に参加する公運審委員と利用者懇談会で今年度の公民館運営審議会の活動報告を行うことを確認。

(2) 東京都公民館研究大会について

- 参加した委員3人が、概要と感想を報告。

(3) 令和5年度第10回定例会の開催について

日時：令和6年3月20日（水・祝）午後6時30分
場所：柳沢公民館 視聴覚室